



見る YouTube

いのちを守る取り組み

## 津波から奇跡的に生還・卒業生が考える「石巻市大川小のこれから」〈宮城〉

2022-02-13 18:26:02

東日本大震災で多くの児童が犠牲となった石巻市の大川小学校の出来事を後世に伝えようと、津波にのまれながらも助かった当時の児童など、卒業生が中心となり新たな団体を立ち上げました。

新たに発足した「Team大川未来を拓くネットワーク」は、震災の津波で児童74人、教職員10人が犠牲となった石巻市の大川小学校について、立場を超えて考えようと卒業生などが中心となり設立したものです。

13日は、石巻市の職員や児童の遺族などが見守る中、意見表明の場が設けられました。

団体の代表は震災当時5年生で津波にのまれながら奇跡的に助かった只野哲也さん（22）がつとめています。

只野哲也さん

「多くの方々との交流を通して大川小学校に必要なことは何かを一緒に考え一人ひとりの意見に対して否定しない強制しない丁寧に向き合るを第一に活動してまいります」

只野さんは、市の震災遺構として保存された校舎を通して、全国の人たちといのちを守る取り組みを議論したいと考えています。

只野哲也さん

「もう一度大川についてみんなで考えようとしてどう遺していくか。自分自身が次のステップにいくための第一段階」

団体では今後、語り部などを行い活動を続けていきたいとしています。